

てがみ座 第16回公演
—— さらに男女の綾を色濃く織りなす、三年ぶりの改訂再演! ——

燦二

さんさん



北斎が娘 お栄 二三歳
この世の光 闇の色、
描き尽くしてやらア

脚本 長田育恵
演出 扇田拓也

イラスト 五十嵐大介

脚本 長田育恵
演出 扇田拓也
燎
さんらん



箱田 暁史
(てがみ座)

速水 映人

酒向 芳

前田 亜季

川口 覚

石村 みか
(てがみ座)

藤間 爽子

岸野 健太
(てがみ座)

野々村 のん
(青年座)

福本 伸一
(ランパ屋)

宇井 晴雄

中村 シュン

江戸後期、黒船が
泰平の眠りを覚ます
少し前……。

お栄は鬼才の絵師・葛飾北斎を
父に持ち、物心つく前から絵筆
を握ってきた。

幼い頃から北斎工房の一員とし
て、男の弟子たちにも引けを取ら
ず、代作もこなし枕絵も描いてきた。

けれど本物の絵師になりたいと肝を据え
たとき痛感する。北斎の影から逃れ、自
らの絵を掴むには、女である自分を受け
入れ、見つめなくてはならないと。

折しも出島からシーボルト二行がやってき
て北斎工房に大量の絵を発注する。百枚
の肉筆画を西洋の画法で描くようにと。
絵師たちに新たな風が吹きつける。

お栄は、自らの光と闇を見出そうと挑ん
でいく……。

北斎の異才を受け継ぎ、
のちに『夜桜美人図』『吉原格子先
之図』を描き出すお栄(応為)、
その青春期の物語。

さらに男女の綾を
色濃く織りなす、
三年ぶりの改訂再演！



【美術】杉山 至 (照明) 稲葉 直人 (A.S.C.) (音響) 内藤 勝博
【映像】浦島 晋 (コレレ) 【衣裳】阿部 美下代 (M.I.V.) プロデュース
【舞台監督】内藤 正広 (演出助手) 日野 浩輔
【イラスト】五十嵐 大介 (題字) 高橋 望夏 (ヘアメイク) 奥野 展子
【宣伝写真】保坂 祐 (宣伝美術) 鈴木 勝 (FORM)
【制作】有本 作 (フリーール) 林 弥生
【企画制作】てがみ座

2020年 第313回 旭川市民劇場2月例会

2月26日(水) 18:30

27日(木) 13:30

会場 / 旭川市公会堂

上演時間 / 2時間10分 (休憩なし)

入会のご案内	
入会金	2,000円
会費(月)	一般 2,500円
	大学生 1,000円
	中高生 500円
会員になると年6回の演劇を鑑賞できます。詳しくは旭川市民劇場まで	

次例会のご案内
4月例会 こまつ座
『イヌの仇討』
3月31日 (火曜日) 18:30
4月1日 (水曜日) 13:30
作 / 井上ひさし
出演 / 大谷亮介ほか